

# 初夏の風受け、 熱い戦い

## 境港でセーリングの国際大会

### 競う相手は他艇と大自然

「2019レーザー級世界選手権大会」が6月26日から7月24日まで、境港公共マリーナと美保湾を舞台に行われます。大会には、2020東京五輪の国別出場枠を懸け、約50の国や地域から、世界トップレベルの選手約350人が出場。鳥取県体育協会所属の瀬川和正さんもその一人です。

セーリングの国際大会「2019レーザー級世界選手権」が境港市で開催されます。五輪メダリストらに交じり、鳥取県からも瀬川和正選手が<sup>せがわかずまさ</sup>出場。初夏の風と共に世界トップレベルのレースを体感できる絶好の機会です。

### 2019 レーザー級世界選手権大会

日 6月26日(水)～7月24日(水) (公式練習含む全期)  
所 境港公共マリーナ(境港市新屋町)、美保湾海上

クラス	日程	内容
スタンダード	6月26日(水)～7月1日(月)	公式練習
	7月3日(水)	練習レース、開会式
	7月4日(木)～9日(火)	レース、閉会式(9日)
ラジアル	7月11日(木)～16日(火)	公式練習
	7月18日(木)	練習レース、開会式
	7月19日(金)～24日(水)	レース、閉会式(24日)

クラスは、帆の面積により決まる。スタンダードは7.06㎡、ラジアルは5.76㎡。

### 出場選手・瀬川和正さんのコメント



セーリングは、スタートしたら自分の力だけで戻るのが原点。競技中、声援は聞こえませんが、心で感じます。「やってやるぞ」という気持ちで挑みます。

問 2019 レーザー級世界選手権大会実行委員会事務局  
☎ 0859-46-0505 F 0859-46-0506  
<https://2019worlds.laserjapan.org/>



セール(帆)に風を受けて進み、

海面のマーク(浮き)を決められた順に回り、着順を競うセーリング。その一種目であるレーザー級は、全長4・23m、幅1・37mの1人乗りの艇を使用。公平を期すため、艇は全て同一仕様、選手の腕のみで競われます。

風や潮流が刻々と変化する海上で、他艇との競り合いやレース全

体を計算して繰り広げられる駆け引き。制するには、艇の巧みな操縦と瞬時に戦術を組み立てる頭脳が求められます。見どころ

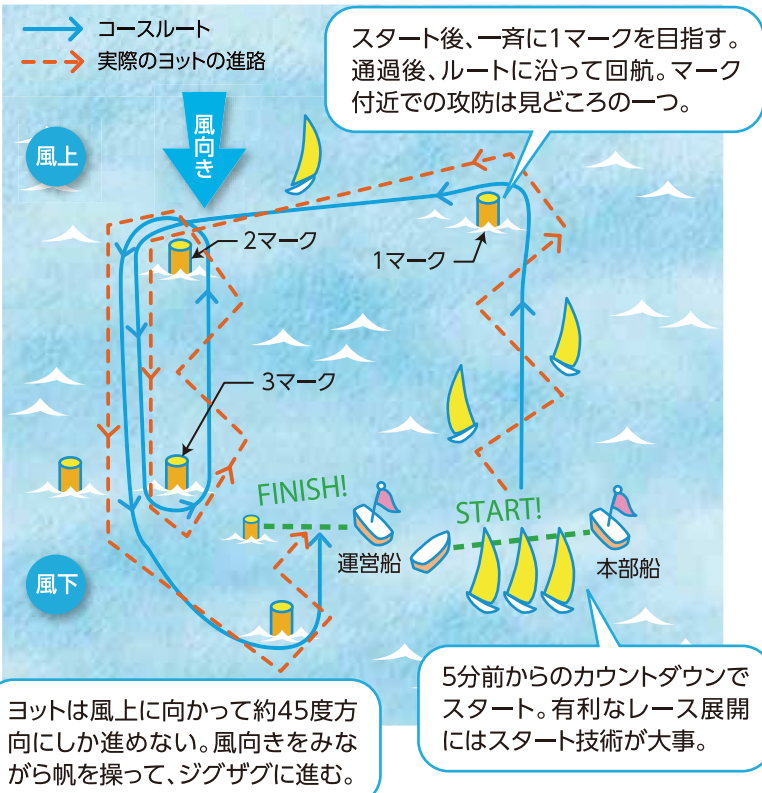
は、風を取り合う一斉スタートの瞬間や、マーク付近の激しい攻防。艇が密集する中をいかにして抜け出ることができるか、無駄なく曲がれるかなどに注目です。





(写真提供=瀬川さん)

### ■ レーザー級で主に使用されるコースと見どころ



(※)大会当日、会場でレース観戦ができない場合は、インターネットでの視聴も可能です。 <https://www.tracrac.com/>

**レースの臨場感を海・陸で**

こうした熾烈な戦いを船上から間近で観戦できるよう、レース時に観覧艇が運航されるほか、陸上にも大型モニターを設置。これは艇に取り付けたセンサーにより、全地球測位システム(GPS)から得られる各艇の位置情報をモニターに投影するというもの。海上でのせめぎ合いをリアルタイム

で見ることが出来ます。(※)

五輪メダリストも参戦のレースを間近で見ることが出来る、またとない機会。申し込み・観戦料は不要、みんなで瀬川さんを応援しましょう。

岡山県庁スポーツ課

☎ 0857・267・234  
F 0857・268・129

